



東久留米市立久留米中学校

令和7年 9月 1日

# 久留米中だより

教育目標 「知性を高める 心を豊かにする 体を鍛える」

〒203-0052  
東久留米市幸町5-9-11  
TEL 042 (471) 0030  
ファクシ 042 (472) 7994



## ともに歩む二学期の始まりに向けて

校長 木下 信久

長かった夏休みも終わりを迎え、いよいよ二学期が始まりました。保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の夏も、例年以上に厳しい暑さが続き、気温の上昇が日常の安全や健康を脅かすものとなっております。8月5日には、群馬県伊勢崎市で国内観測史上1位となる41.8℃を観測し、気象庁は2025年7月の平均気温が基準値から2.89℃高く、1898年の統計開始以降、最も暑い7月であったと発表しました。この後も猛暑は長引く見込みとの予報が出ており、熱中症対策を欠かすことができません。7月に本校としての暑さ対策について通知文で保護者の皆さまにご連絡しましたが、本校のホームページにも掲載しておりますので、改めてご確認ください。

さて、8月6日は広島に原子爆弾が投下された日ですが、広島市の平和記念公園で平和記念式典が開かれました。松井一実市長は、平和宣言でロシアのウクライナ侵攻や混迷を極める中東情勢に触れ、「自国を守るためには核兵器の保有をやむを得ない、という考え方が強まりつつある」と懸念を述べられました。広島県の湯崎英彦知事はあいさつの中で戦争の歴史に触れ、国家間の力の均衡は「自信過剰な指導者の出現、突出したエゴ、高揚した民衆の圧力」により破られてきた、と指摘されていました。続けて、核抑止もいつか破られうるとした上で、「我々も決して諦めず、粘り強く、核兵器廃絶という光に向けて這い進み、人類の、地球の生と安全を勝ち取ろう」と力を込めて述べられました。

今年で戦後80年目を迎えました。テレビ等では、多くの特集番組が組まれましたが、食い入るように過去の現実を受け止めた生徒もいたのではないのでしょうか。戦争の悲惨さ、命の尊さ、そして平和の大切さについて改めて考えさせられました。被爆体験を語る方々の高齢化が進む中、次世代を担う中学生たちが歴史に学び、平和の意味を自ら言葉で語るができるようになることは、これまで以上に重要になってきます。生徒たちが他者の思いに寄り添い、よりよい社会を築こうとする心を育むことが、学校教育の大きな役割の一つでもあります。二学期は、校外学習、修学旅行、合唱コンクールなど、仲間と協力し、成長できる機会が数多くあります。日々の授業や行事を通して、自分の考えを深め、表現し、互いに認め合う姿勢を育むことが平和への第一歩につながると考えます。

今学期も、保護者の皆さまのお力添えをいただきながら、生徒の豊かな学びを支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 〇いじめ総合対策について

今年度の学校だより5月号でも「みんなが安心して過ごせる学校を目指して」と題し、人権やいじめに向けた考えや取組について発信いたしました。東京都教育委員会ではデジタルブック版いじめ総合対策【第3次】及び【子供版】を令和7年6月に公表しております。東久留米市教育委員会は、9月上旬に生徒一人一人に貸与しているタブレット型端末のデスクトップに本対策の【子供版】のショートカットキーを配置していただけることになっております。児童・生徒が、いじめ問題やいじめ防止について学び、自ら考えて行動することができるようになることを目的として、「小学1年生から3年生向け」、「小学4年生から6年生向け」、「中学生・高校生向け」の3編を作成し、同時に公表しております。下に、中学生・高校生向けのURLを掲載しましたので、お時間がございましたら事前にご確認ください。

[https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/digital/jokyu\\_2025/#page=1](https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/digital/jokyu_2025/#page=1)



## ○子供の SOS の相談窓口(文部科学省)について

こども家庭庁では、全てのこどもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、不安や悩みに直面し、つらい思いをしているこどもたちが思いを打ち明けやすい環境をこどもの目線に立って作るために、昨年11月、庁内に「こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム」(以下「プロジェクトチーム」という。)を発足させました。本取組の一環として、「子供(こども)の SOS の相談窓口」が取りまとめられ、児童・生徒用 GIGA 端末(Windows 端末)のデスクトップにショートカットとして配置されましたのでお知らせします。

今年度は、本校には3名のスクールカウンセラーが配置されております。スクールカウンセラーへの相談については、生徒のみならず保護者の皆さまのご相談にも応じることができますので、学校までお問合せください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)



## ○デジター教科書の活用について

東久留米市教育委員会では、東久留米市第3次教育振興基本計画及び東久留米市第3次特別支援教育推進計画に基づき、合理的配慮や障害のある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る観点から、特別な支援が必要な児童・生徒へのマルチメディアデジター教科書(以下、「デジター教科書」という。)の活用を進めていただけることになりました。

<デジター教科書とは>

教科書を読むことに苦手意識や困難のある児童・生徒のために開発されたもので、文字を拡大したり、ルビを振ったり、音声で読み上げたり、読むところに色を付けたりする機能のある無料のデジタル教科書です。文章や図は紙の教科書と同じように作られており、一人1台端末を使用することで、授業中や家庭学習でこの機能を活用することができます。

<対象生徒について>

デジター教科書は、いわゆるデジタル教科書とは異なりすべての生徒にご利用いただくことはできません。特に診断が必要なわけではありませんが、LD(学習障害)等の発達障害や弱視等の視覚障害、その他の障害のある児童・生徒など読むことに苦手意識や困難のある児童・生徒のために開発されたもので、読むことに困難さがある生徒(日本語への適応も含め)に限り利用が許可されているものです。家庭において困難さがみられる場合には、学校までお問合せください。

## ○小中連携算数補充教室ボランティアの実施報告

昨年に引き続き、小山小と本村小への夏季算数補充教室ボランティアを実施しました。今年も多くの生徒が協力してくれましたので、ご報告します。

- ・小山小学校:7/24,25,29の3日間実施 延べ27名の生徒の協力をいただきました。
- ・本村小学校:7/22,23,24,25の4日間実施 延べ22名の協力をいただきました。

## ○東田式パズル教室の実施報告

昨年に引き続き、パズル博士の東田大志先生にご来校いただき、7/23,24,25の3日間実施しました。本校生徒の延べ参加数は26名でしたが、その他にも保護者の方や妹弟、地域の方などに参加していただき、一つのことに粘り強く取り組むことや、解けた時の何とも言えない達成感や充実感を味わっていただきました。